

令和7年3月2日 執行

柳井市長選挙公報

(発行者)
柳井市選挙管理委員会

新しい柳井へ! 2度目の挑戦! 今度こそ!! 経済と人口の「好循環のまちづくり」を
しがらみゼロ
お約束します

生活を楽しめるまちづくり

- 高齢者おでかけサポート事業を拡充 年間最大 24,000円
※対象者も大幅拡大、全世代の移動をサポート(2025年度より) ▶▶▶ **48,000円**
- 市民1人あたり**20,000円**の買い物券を全世帯に配布
※市議会可決分+国財源活用分(2025年度内) **物価高騰対策**
- トイレの洋式化・多目的化の推進
- 中間貯蔵施設は隣接市町と連携し、市民の声を重く受け止めて最大限慎重に対応

過疎地域からの脱却 ※2032年目標

- 柳井玖珂道路を実現!
柳井玖珂道路 玖珂IC 伊陸IC 柳井IC
- 柳井市の税負担ゼロ、
通行料無料の高速道路
- 経済波及効果は1,000億円以上
- 大規模産業団地の造成
- 柳井市に定住する
若い世代が大幅増加
- 全世代が安心して暮らせる
生活基盤を確保

防災・医療体制の強化

- 公共施設の耐震化促進
- 避難場所改善等の防災体制整備

若者の移住・定住を促進

- 結婚時の
資金提供を大幅増加
- 小中学校給食費の
完全無償化(2025年度より)
- 出産祝い金など直接給付策を創設

地元企業の発展

- 「金魚ちょうちん和白壁のまち」の
整備と世界発信
- 雇用確保に直結する
教育機関設立



柳井生まれ
柳井育ち

shimomura-taro.com 実績や政策はこちら ▶ 下村太郎



しもむら 下村太郎 新人働き盛り42歳
1982年12月生まれ。中央大学法学部政治学科卒業。
2007年大和証券に入社、13年間勤務。2021年2月の
柳井市長選に挑戦するが282票差で惜敗。同年12月の柳井
市議選で3,658票をいただきトップ当選。

市民目線と有言実行、初志を貫き 私は全力投球をつづけていきます。

いま柳井市は、新たな展開を遂げつつあります。“幸せのまちづくり”を実現していくため、私は全身全霊を捧げる覚悟です。

“幸せのまちづくり”⑧つの取り組み

- 市民とともに500回を経過した「市民と市長と気楽にトーク」に、リモート参加など新しい形態も取り入れるなど、市民の力によるまちづくりを継続します。
- 開館から半年ではや10万人の来館者を迎えた「みどりが丘図書館」を中心に、活発な市民交流と文化活動を展開します。
- トップレベルの子育て応援と子育て世代の定住促進で、まちの未来を育みます。
- 企業誘致をさらに促進し、地元農家・漁業者への支援制度を創設して、市発展の産業基盤を強化します。
- 選手・市民・市が一体となって、“スポーツ柳井”をさらに盛り上げていきます。
- 有近真知子県議提唱の「ごちゃまぜのまちづくり」と連携して、市中心部の「夢プラン」策定に取り組みます。
- 空き家の解体を加速させ、全ての世代の外出を支援するなど、生活課題の解消に取り組みます。
- 水道統合、柳井・平生バイパス実現、柳井玖珂線整備など、近隣市町・県・国との連携をさらに拡充します。



いはら 井原健太郎 けんたろう
1974(昭和49)年7月28日生まれ(50歳)、熊本南高、早稲田大学政治経済学部卒業。2009(平成21)年3月27日柳井市長就任。2019年12月山口県後期高齢者医療広域連合長、2024年5月中国国道協会長

柳井市長選挙

投票日 **3月2日(日)** 午前**7時**~午後**7時**
平郡地区は、3月1日(土)午前7時~午後6時

(この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま製版の上印刷したもので掲載順序は抽選によって決められたものです。)